

清須市人口ビジョン（素案） 概要

1 人口ビジョンの概要

清須市の人口の現状を分析し、人口に関する市民の認識を共有し、今後の目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すもの【対象期間:2060年】

2 人口の現状分析

人口の動向分析

- 総人口は1970年から2010年の40年間で約6,000人増加し、おおむね増加基調で推移
- 年少人口（15歳未満）は近年はほぼ横ばいで推移、生産年齢人口（15～64歳）は1995年をピークに減少、老年人口（65歳以上）は一貫して増加し、2010年には20%超え
- 自然増が続く状況であるものの、増加幅（出生が死亡を上回る幅）は小さくなる傾向
- 合計特殊出生率（2008～2012年）は1.63と全国平均（1.38）や愛知県平均（1.51）と比較し高い水準
- 社会増減は年によって変動があるものの、この10年間は社会増の年が多い
- 県内市町村別の転入・転出の状況（2012・2013年）については、名古屋市からは転入超過である一方、近隣の稲沢市、あま市等に対しては転出超過
- 20歳代前半の男性は流出超過傾向（国勢調査間）
- 市内の居住年数（2010年時点）については、男女とも25～34歳では5年未満が5割超

観光・交流人口の状況

- 市内観光資源の利用者数は、尾張北部地域の主な施設・資源と比較すると低調
- 滞在人口率の順位（2014年）は、平日・休日とも県内では20位台（69市区町村中）にとどまっており、特に休日の順位が低い状況
- 時間帯別の滞在人口については、平日は終日流入超過である一方、休日は日中流出超過

産業・就労の動向分析

- 市の産業特性としては、製造業、建設業、運輸・郵便業等で特化係数が高く、市民が就業する産業としても、製造業、建設業の就業者数が多い
- 就業や通学をする場を市外に持つ市民が多い（30～34歳は特に多い）

3 住まい・子育て・結婚に関するアンケート調査結果

定住に関する意向

- 87.5%の市民が住みよいと評価し、76.7%の市民が今後も清須市に住み続けたいと評価

理想の子ども的人数

- 「2人」が64.6%と最も高く、平均すると「2.1人」

結婚に関する意識

- 92.5%の人が結婚を望んでいる。結婚していない理由としては、「適当な相手にめぐりあわない」（36.6%）、「異性とうまく付き合えない」（29.2%）等

市への期待

- 若い世代にとって暮らしやすい清須市をつくるために市が更に充実させる必要があることについては、「子育て支援」が53.1%と最も高く、次いで「商業・娯楽施設の充実」（35.4%）、「仕事と家庭の両立の支援」（23.3%）等

4 リニア中央新幹線の影響

- リニア開業による所要時間短縮率が47.8%と、県内では名古屋市に次ぐ高い短縮率
- 愛知県の報告書では、リニアインパクトを生かした地域づくりの方向性（西尾張地域）として、戦国武将ゆかりの地や水辺空間などの磨けば光る魅力的な観光資源があることを生かし、ショートトリップ観光を促進していくことなどが示されている

5 人口動向に関する課題の整理

低調な観光・交流人口

- 豊富に有する歴史的資源を生かして更なる観光の振興、とりわけ、ショートトリップ観光の促進により、交流人口の拡大を図り、地域の活力を醸成することが必要

若年層の人口流出・定住化

- 将来的な自然増・社会増の鍵を握る若年層の人口流出防止や定住化に向けて、若い世代が求める子育て支援施策等の充実に努めることが必要

高齢化の進展

- 高齢者が有する高い能力や豊かな経験を生かしながら、高齢者も社会の支え手として活躍できる社会を実現することが必要

将来的な人口減少

- 現在の人口増加のトレンドを少しでも長く維持していくためには、名古屋大都市圏に位置する本市の強みを生かしたまちづくりの取組を、継続的かつ発展的に進めていくことが必要

6 目指すべき将来の方向

方向性1 地域資源を生かして地域の活力を醸成する

地域資源の活用による地域の活力醸成・魅力発信を通じた交流人口の拡大

方向性2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、暮らしやすい地域づくり

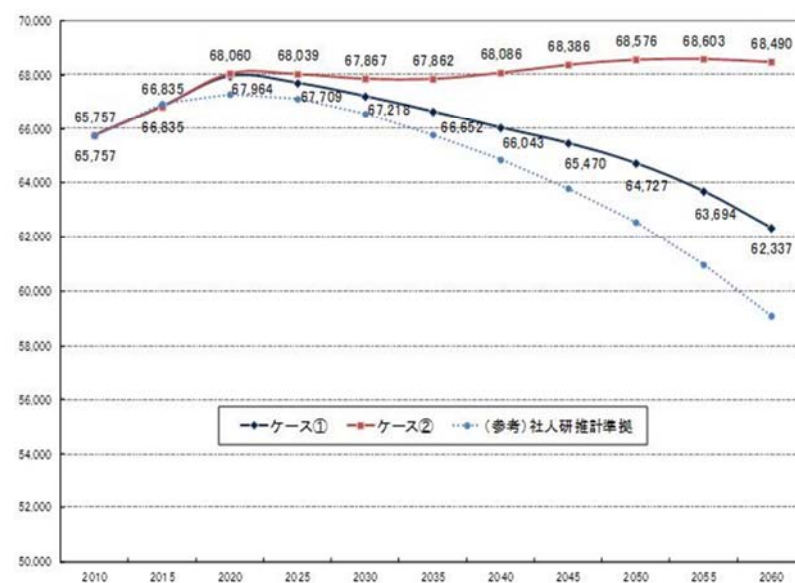
方向性3 高齢者が元気でアクティブに暮らせる地域をつくる

高齢者が有する高い能力や豊かな経験が地域社会に還元される地域づくり

方向性4 安全・安心で快適に暮らせる地域をつくる

名古屋大都市圏に位置する強みを生かした安全・安心で快適に暮らせる地域づくり

7 人口の将来展望



【ケース①】出生率が現状程度で推移

[出生率] 2020年：1.63 2040年～：1.61

[純移動率] 過去10年間の平均移動率で推移

【ケース②】出生率が上昇

[出生率] 2020年：1.68 2040年～：2.07(※)

※愛知県の人口ビジョンと同値

[純移動率] 過去10年間の平均移動率で推移

- ケース②によった場合、2020年以降も大きな減少局面を迎えることなく、緩やかに増加
- あらゆる施策を相乗的に講じてケース②に近づけていくことが必要

清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子案） 概要

1 基本的な考え方

「清須市人口ビジョン」で提示する本市の人口に関する目指すべき将来の方向の実現に向けて、本市が有する特性や抱える課題を踏まえて、今後4か年の目標、施策の基本的方向及び具体的な施策をまとめるもの【計画期間:平成28年度から平成31年度まで(4年間)】

2 基本目標

基本目標① 地域資源を生かして活力あるまちをつくる

基本目標② 若い世代が子育てしやすいまちをつくる

基本目標③ 高齢者が元気でアクティブに暮らせるまちをつくる

基本目標④ 安全・安心で快適に暮らせるまちをつくる

3 具体的な施策

基本目標① 地域資源を生かして活力あるまちをつくる

本市が有する歴史・自然を中心とする地域資源を積極的に活用した地域の活力醸成と魅力発信の取組を通じた交流人口の拡大

[具体的な施策]

施策① 歴史・自然を中心とする地域資源の積極的な活用

- 清洲城の更なる盛り上げ、水辺の散策路の活用促進
- 愛知県と連携した朝日遺跡の普及啓発や清洲貝殻山貝塚資料館のにぎわい創出
- ふるさと納税における地域資源を生かした体験型返礼品の贈呈検討

施策② シビックプライドの醸成

- 「清須学講座（仮称）」の開設と「清須学歴史マイスター（仮称）」の認定
- 「社会科授業」や「総合的な学習の時間」における清洲城等の積極的な活用

施策③ 観光アクセスの充実

- 「きよすあしがるバス」への「1日乗車券」の導入と「モデルコース」の設定
- 「きよすあしがるサイクル」の自転車返却スポットの追加等
- 清洲城と清洲貝殻山貝塚資料館を結ぶ遊歩道の整備に向けた検討

施策④ 観光情報発信力の強化

- 「kiyosu Free Wi-Fi」サービスの提供エリアの拡大
- 「Meet the KING of SAMURAI at Kiyosu Castle」の配信強化

施策⑤ 創業支援の促進

- 近隣市町との共同による「創業支援事業計画」の策定に向けた検討

基本目標② 若い世代が子育てしやすいまちをつくる

若い世代にとって暮らしやすく、安心できる地域づくりに向けた、安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備

[具体的な施策]

施策① 安心して妊娠・出産ができるための支援

- 産後健康診査への公費負担の実施に向けた検討
- パパママ教室の推進、「産後ヘルパー」制度の拡充、一般不妊治療にかかる医療費助成

施策② 子育て支援サービスの充実

- 病児・病後児保育の推進、放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実
- 認定こども園を通じた質の高い保育・教育事業の実現、小規模保育事業の充実

施策③ 育児環境の整備

- スマートフォン用アプリや情報誌（ガイドブック）を通じた情報発信
- 子育て支援センターを通じた支援の充実、「ファミリー・サポート・センター」による相互援助

施策④ 子育てに対する経済的な支援

- 乳幼児医療費の助成、私立幼稚園就園奨励金等による経済的な支援

基本目標③ 高齢者が元気でアクティブに暮らせるまちをつくる

高齢者が元気に、その有する高い能力や豊かな経験を生かしてアクティブに暮らせる地域づくり

[具体的な施策]

施策① 高齢者の社会参加の促進

- 「清須学講座（仮称）」[再掲]や「清須学歴史マイスター（仮称）」[再掲]の実施を通じた高齢者の社会参加の促進や活動意欲の醸成
- 生涯学習講座メニューの充実

施策② 市民協働の推進

- 市民活動団体等・市民・市相互の情報交換・交流の促進に資する拠点づくりの検討
- 市内部の市民協働推進体制のあり方検討

施策③ 地域包括ケアシステムの構築

- 医療・介護・予防・生活支援・住まいが地域において切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築

施策④ 官学連携による介護予防・健康づくりの推進

- 愛知医療学院短期大学との連携による高齢者を対象とした健康づくり教室（らく楽運動教室）の普及促進

基本目標④ 安全・安心で快適に暮らせるまちをつくる

名古屋大都市圏に位置する本市の強みを生かした安全・安心で快適に暮らせる都市基盤の整備

[具体的な施策]

施策① 河川・排水対策の充実

- 公共下水道（雨水）の計画的な整備、雨水ポンプ場の整備・長寿命化の推進
- 雨水貯留施設の計画的な整備、雨水貯留浸透施設の設置に対する補助

施策② 市街地整備の推進

- JR清洲駅周辺及び名鉄新清洲駅周辺における区画整理事業の推進
- 名鉄名古屋鉄道高架化事業の促進

施策③ 公共交通の充実

- 「きよすあしがるバス」を中心とした既設の鉄道網を生かした市内交通ネットワークの形成

施策④ 公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進

- 「公共施設等総合管理計画」の策定と「個別施設計画」の策定に向けた検討

4 進行管理

- 重要業績評価指標（KPI）による施策の効果の検証・改善を行う仕組み（PDCAサイクル）の構築と検証機関
- 今後の総合戦略の改訂の考え方 等について記載予定

1 基本的な考え方

(1) 趣旨

「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）は、まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）第 10 条に基づき、「清須市人口ビジョン」（以下「ビジョン」という。）で提示する本市の人口に関する目指すべき将来の方向の実現に向けて、本市が有する特性や抱える課題を踏まえて、今後 4 か年の目標、施策の基本的方向及び具体的な施策をまとめるものです。

(2) 計画期間

平成 28 年度から平成 31 年度まで（4 年間）

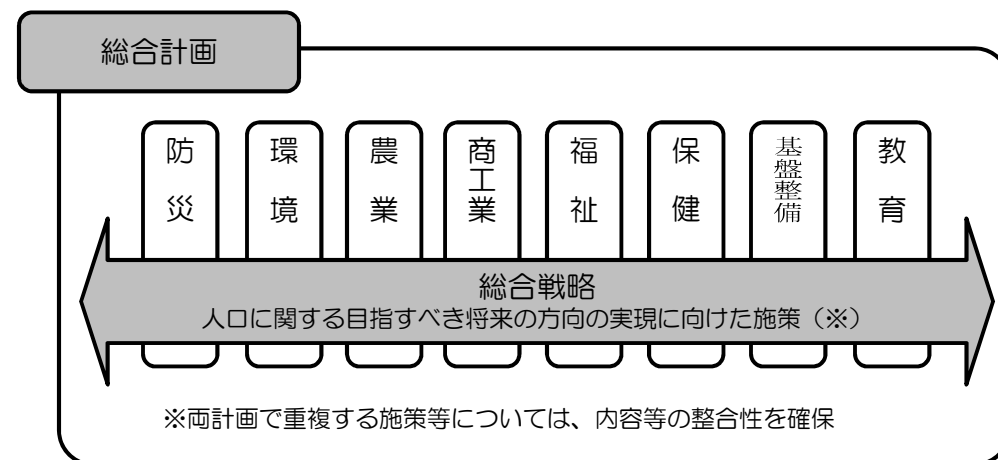
(3) 総合計画との関係

本市においては、総合計画を「行政運営の基本的な指針」として定め、各行政分野における個別計画の最上位に位置する計画と位置付けております。また、「清須市第 1 次総合計画〔改訂版〕」（平成 24 年 3 月）では、基本構想において分野別の施策の方向を明らかにする「施策の指針」を定めております。

このように、本市の総合計画は、本市のまちづくり全般に渡る施策を、分野別・体系的に整理したものであるのに対し、総合戦略は、ビジョンで提示する本市の人口に関する目指すべき将来の方向の実現に向けて必要となる施策を、分野横断的に整理する計画となります。

なお、現在、策定作業を進める「清須市第 2 次総合計画」（平成 29 年度～）との関係については、計画期間の整合性を図るとともに、可能な限り、総合戦略の具体的な施策単位で内容等の整合を図ります。

【総合計画との関係（イメージ）】



2 基本目標

ビジョンで提示する本市の人口に関して目指すべき将来の方向の実現に向けて、今後 4 か年で取り組む施策に関する基本目標を次のとおり設定します。

基本目標① 地域資源を生かして活力あるまちをつくる

基本目標② 若い世代が子育てしやすいまちをつくる

基本目標③ 高齢者が元気でアクティブに暮らせるまちをつくる

基本目標④ 安全・安心で快適に暮らせるまちをつくる

本市のまち・ひと・しごと創生に向けて、まずは、本市が有する地域資源を最大限に活用しながら、地域全体の活力を醸成することにより、交流人口の拡大、ひいては、定住人口の増加を目指していきます。

さらには、本市においても進展する少子高齢化への積極的な対応として、若い世代と高齢者へ焦点を当て、若い世代にとって子育てしやすいまちをつくるとともに、高齢者が元気でアクティブに暮らせるまちをつくることにより、若い世代と高齢者のそれぞれが有する活力を、地域全体の活力醸成の推進につなげていきます。

その上で、地域全体の活力を支える基盤として、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりの推進に、引き続き努めていきます。

【基本目標の相関関係（イメージ）】

